スマホで検索 路線バス位置情報

県交通 エリア拡大へ

盛岡市中心部―滝沢市役所方面 3月末に導入

県交通（本田一彦会長）は、スマートフォンで路線バスの位置やバス停到着までの時間などを検索できる新たなサービスの普及を図っている。盛岡滝沢エリアの特に若い世代が多く利用する路線を起点に展開しており、3月末には盛岡市中心部と滝沢市役所方面を結ぶ路線にも導入する見通しだ。サイトのアクセス数は着実に増えており、同社は利便性向上や乗客増を視野に、県内の幅広いエリアでのサービス拡大を目指す。

県交通が普及を図るスマートフォンサイト「バス予報」の画面

同サービスは、システム開発などを行う東京都のアーティサン（小山才喜社長）のバス位置確認システム「バス予報」を利用。スマートフォンでアクセスすると「近くのバス停」「バス停を探す」「路線を探す」などのメニューが表示され、利用者が求める情報がリアルタイムで得られる。バスに専用端末が搭載され、15～30秒ごとに情報が更新される仕組みで、同社によると同様のシステムは首都圏や大都市圏を中心に普及が進んでいるという。

県交通は2017年、釜石営業所管内の高速を除いた路線バスで同システムの実証実験を開始。本年度、盛岡市でのサービスを開始し、同市と滝沢市を結ぶ「厨川中央線」「巣子箱清水線」、滝沢市の「巣子盛岡大学線」「滝沢駅・盛岡大学線」などに順次拡大してきた。

これらの路線は、スマートフォンの扱いに慣れた県立大や盛岡大をはじめとする学生らが多く利用しており、同社によると平日を中心にアクセス数が伸びているという。

同社は今後、盛岡、滝沢両市を中心に導入可能なエリアから順次サービスを拡大し、将来的には全県での展開を目指す。

本田会長は「アクセス数が増えており、利用者の利便性向上の上で確かな手応えがある。県内各地のニーズなどを探りながら地道に対象エリアを広げたい」としている。

「バス予報」は、県交通のホームページなどからアクセスできる。

入院拒否の懲役削除検討

与党 時短巡る過料減も

与党は新型コロナウイルス対策の感染症法改正案に盛り込まれた罰則に関し、入院拒否者に対する懲役刑を削除する検討に入った。新型コロナ特別措置法改正案の行政罰についても、営業時間短縮の命令を拒んだ事業者への過料の減額を視野に入れる。緊急事態宣言の前段階に当たる「まん延防止等重点措置」は、国会への事前報告に応じる方向。26日からの野党との修正協議で柔軟姿勢を示し、2月初旬成立に向けて協力を得たい考えだ。与党関係者が25日、明らかにした。

菅義偉首相は25日の自民党役員会で「野党と十分議論し、感染拡大に対応できるよう成立を急ぐ」と述べ、修正協議の進展に期待した。衆院予算委員会では罰則について「感染者が医療機関から抜け出した事案や、全国知事会の緊急提言を踏まえ、実効性を高めるために設ける」と説明。野党議員が批判した懲役刑には言及しなかった。

自民党の森山裕国対委員長は立憲民主党の安住淳国対委員長と
衆院本会議
し、改正案
る見通しを
にした。

新型コロナ対
法案修正の議

● 入院拒否者への

節